

Salone del Mobile 2014 最新ニュース

第53回ミラノサローネ国際家具見本市は4月8日(火)から13日(日)までの6日間、ミラノローフィエラにて開催されます。

平日は業界関係者のみを対象とし、土日は一般開放します。

またサローネサテリテは開催期間中常に一般開放、入場も無料です。

以下、見本市に関するデータです。(注:2014年2月現在) :

<全見本市共通>

時間 : 9:30-18:30

全見本市出展社数 : 1,749社 + サローネサテリテ参加デザイナー数 650人

全見本市出展面積 : 203,800 m²

全見本市会場面積 : 340,000 m²

<各見本市>

第53回 サローネ国際家具見本市 (国内53回目、国際36回目)

第28回 サローネ国際インテリア小物見本市

出展品 : リビング・ダイニング用家具 (ソファ、テーブル・椅子、収納、等)、キッチン用家具、寝室用家具 (ベッド、ワードローブ、等)、小物家具、玄関用家具、ガーデン用家具、同業種の新聞、雑誌、広告会社関連サービス、等

出展社数 : 1,400社以上

出展パビリオン : 1-8, 10, 12, 14, 16, 18, 20

出展面積 : 151,000 m²

プレスギャラリー : Corso Italia/ レセプション パビリオン 9-11

第20回 エウロクチーナ: サローネ国際キッチン見本市 (隔年開催)

出展品 : 各種素材のキッチン (ラミネート化粧板、木製、金属製、塗装製、等)、キッチン小物、作図システム、関連情報システム、キッチン関連組合、同業種の新聞、雑誌、広告会社、等

出展社数 : 130社

出展パビリオン : 9, 11, 13, 15

出展面積 : 25,000 m²

プレスギャラリー : パビリオン内

第6回 FTK テクノロジー・フォー・ザ・キッチン (隔年開催)

エウロクチーナ併催イベント

出展品 : 家庭用レンジフード・ビルトイン・最新キッチン

出展社数 : 35社

出展パビリオン : 9, 11

出展面積 : 9,800 m²

第5回 サローネ国際バスルーム見本市（隔年開催）

出展品：バス・トイレタリー用品、バス・トイレタリーアクセサリ、シャワーボックス、浴槽、サウナ設備、衛生陶器、蛇口、バス・トイレタリー関連組合、同業種の新聞、雑誌、広告会社、等

出展社数：184社

出展パビリオン：22, 24

出展面積：18,000 m²

プレスギャラリー：パビリオン内

第17回サローネサテリテ

参加デザイナー：650人

参加国際デザイン学校：16校 + ADI

出展パビリオン：13, 15

出展面積：2,800 m²

● プレスオフィス

南ゲート、サービスセンター内（見本市開催期間中）

初日より3日間は日本語対応有り。

● 出展社リスト

www.cosmit.it (Milano - 各見本市毎 - precatalogue 2014)

スマートフォン・アプリ（3月中旬開始予定）

● プレスカンファレンスの写真

2014年2月13日正午（イタリア時間）よりコズミット・ホームページ(www.cosmit.it プレスエリア)、Facebook、Flicker の iSaloni オフィシャルチャンネルにてご覧になれます。

＜サローネ国際家具見本市、サローネ国際インテリア小物見本市＞

サローネ国際家具見本市は2014年、新規出展も数多く迎えます。

Hästens(ハステン)、Kvadrat(クヴァドラ)、iittala(イッタラ)、Tom Dixon(トム・ディクソン)に加え、モダ界からはフェレ、ピエールカルダン、ウンガロが初参加。また、Flötotto(フロトット)、Gebr. Thonet(ゲブルダートーネット)、SCP(エスシーピー)、Thonet(トーネット)、Treca(トレカ)、Wittmann(ウィットマン)なども今年はフィエラ会場へカムバックします。

＜エウロクチャー：サローネ国際キッチン見本市＞ 隔年開催

Alno(アルノ)、Cesar(チェザー)、Dada(ダダ)、Mobalpa(モバルパ)、Pedini(ペディーニ)、Schiffini(スキッフィーニ)、Valcucine(ヴァルクチーネ)といったブランドも今年はエウロクチャーへ帰ってきます。

イタリア・キッチンの輸出高は2013年1~8月に、2012年の同時期と比べ5.4%アップを記録。輸出先は以下の通り。

英国(+90%)、アメリカ(+62.7%)、トルコ(+39.2%)、スイス(+22.8%)、ロシア(+9.4%)、パナマ(+114.2%)、シンガポール(+113.3%)、香港(+60%)、オーストラリア(+47.8%)

エウロクチャーの併催イベント、FTK(テクノロジー・フォー・ザ・キッチン)では、電動ビルトイン装備やレンジフードで2002年開催開始より多くのキッチンメーカーを魅了してきています。今年はArçelik (Beko)(アーチェリック・ベコ)やSub-Zero Group (SubZero, Wolf)(サブゼロ・グループ)も初出展します。

若手登竜門でお馴染みのサローネサテリテは、エウロクチャーと同じ13、15パビリオンへ移動します。

＜サローネ国際バスルーム見本市＞ 隔年開催

2003年に始まったサローネ国際バスルーム見本市は第5回目を迎えます。

184の出展社、前回2012年度より20%増となる18,000 m²の展示スペースにはGessi(ジェッシ)やSicis(シチス)などのトップメーカーがローフィエラへ帰ってくるのに加え、初出展にFlorim(フロリム)、Geberit(ゲベリット)、Graff(グラフ)、Kartell by Laufen(カルテル・バイ・ラウフェン)、Santagostino(サンタゴステイーノ)を迎えます。

イタリア・バスルーム家具の2013年1~8月の輸出高は2012年同時期に比べ、中国(+32,7%)、韓国(+24,6%)、ロシア(+17,9%)、トルコ(+17,1%)、スウェーデン(+11,8%)、オーストラリア(+1,7%)と著しい伸びを見せています。

また、22、24パビリオン内には、今年よりリラクゼーション・エリアを3カ所に配置、WiFiも完備し「イタリアン・スタイル」の仕事や食事にご利用いただけます。

<サローネサテリテ> デザイン、イノベーション + クラフトマンシップ

今年よりサローネサテリテは13、15パビリオンへ移動、カーゴ4番より入場無料です。新しいロケーションは、最先端技術の創造性と未来の展示、FTKと隣接することで、相乗効果を狙ったものです。

昨年のクラフトマンシップ・スタジオが今年も帰ってきます。テキスタイル、陶器、レザーや3D(デジタル・クラフトマンシップ)の実演は、伝統工芸、モダンデザイン、産業の結びつきから、現代の若いデザイナーたちを新しい可能性へと導くことでしょう。

● 650人の参加デザイナー選考委員

Giovanni Anzani (Varenna エウロクチーナ出展社)、Arturo Dell'Acqua Bellavitis (ミラノ・トリエンナーレ・ミュージアム館長)、Ana Dominguez (スペイン Abc、Diseño Interior ジャーナリスト)、Francesco Faccin (デザイナー、2007、2010年サローネサテリテ出展)、Daniela Fantini (Fratelli Fantini サローネ国際バスルーム見本市出展社)、Lia Ferrari (イタリア雑誌 Io Donna ジャーナリスト)、Beppe Finessi (デザイン批評家)、Gilles Massè (リナシェンテ・セントラル・ホームコレクション・ディレクター)、Roberto Palomba (建築家)、Marcello Pepori (Lema サローネ国際家具見本市出展社)、Valentina Raggi (イタリア雑誌 Grazia Casa ジャーナリスト)、マルヴァ・グリフィン (サローネサテリテ・キュレーター)

● サローネサテリテアワード

今年で第5回目を迎えるサローネサテリテ・アワード、アワード参加希望者はその年の隔年開催見本市に準じた作品を予め一つ以上用意します。今年ではエウロクチーナとバスルーム家具が対象となります。このアワードの趣旨は、参加者に隔年開催見本市と同じ課題を与えることで、プロの出展企業と張り合い、需要から供給へ、デザインからビジネスへ、創作から生産へと、参加者のプロ意識を向上させます。

厳選な審査のもと1位から3位までの入賞者には、金一封とメーカーでの研修資格が与えられ、更には、コンサルタント及びプレスサービス、入賞作品の普及が約束されます。

● リナシェンテ

今年もサローネサテリテより選ばれた作品が、ミラネーゼのデパート、リナシェンテにて2014年9月からクリスマスまで展示、販売される予定です。

<Where Architects Live> ~現代建築家の自邸を覗き見る~

今年度の併催イベント、「Where Architects Live」はフランチェスカ・モルテーニとダビデ・ピッツィゴニのキュレーション。「プライベート・ホーム」をパビリオン9にてお披露目してくれる8人の建築家は以下の通り：坂茂、マリオ・ベリーニ、デビッド・チップーフールド、マッシミリアーノ&ドリアナ・フクサス、ザハ・ハディド、マルシオ・コガン、ダニエル・リベスキンド、ビジョイ・ジェイン/スタジオ・ムンバイ

このインスタレーションは、現代の建築様式や経験、傾向から、家をデザインするとはどういうことか、を探ることを目的としています。

<お役立ち情報>

● ソーシャルネットワーク

ミラノサローネに関するホットな情報は、コズミット HP より各ソーシャルネットワークでもご覧になれます：Facebook、Twitter、YouTube、Flickr、Linkedin、Pinterest

blog.isaloni.it

Twitter hashtags: `iSalonioofficial`

#iSaloni|#EuroCucina|#SaloneBagno|#SaloneSatellite

<http://www.cosmit.it/en/>

● インフォメーション・スタンドが登場！

今年より空港やミラノ市内の鉄道駅、地下鉄、そしてリナシェンテに配置。ミラノのデザイン学校（IED、ドムス・アカデミー、Naba、ミラノ工科大学）の生徒の協力を得てフィエラ会場へのアクセスなどをご案内します。これらのスタンドのデザインはピエロ・リッソーニが手がけました。

● リナシェンテカード（ミラノ在住の方へ朗報！）

リナシェンテカードを持参すると土日の一般開放日は入場券のディスカウント・サービスを受けられます。

● ベルナルディーノ・ルイーニ展 4月9日～7月13日

レオナルド・ダ・ヴィンチと直接仕事をしたと言われているルネッサンス期のイタリア人画家の展覧会のオープニングに合わせ、第53回ミラノサローネ国際家具見本市の前夜祭は、記者会見と同じ会場、ミラノ王宮の中でも特に有名なカリアティディの間で合同開催されます。ジョバンニ・アゴ스티とヤコポ・ストッパによるキュレーション。コラボレーションはリッソーニ。前夜祭は4月7日。招待客のみ。

● 美術館入場無料

今年も昨年同様、ミラノ 文化、ファッション、デザイン局とコズミットの協力によりサローネ開催期間中、ミラノ市内8カ所の美術館が入場無料となります。

無料対象美術館：ノヴェチェント美術館、考古学博物館、歴史自然博物館、

スフォルツェスコ城博物館、モランド宮、市立水族館、近代美術館、リソルジメント博物館

● 地下鉄切符と来場者入場券の統一

今年も会場主であるフィエラミラノとミラノ地下鉄運営会社 ATM の合意により、**地下鉄切符付き入場券**がオンライン来場者入場券の事前購入に限り販売されます。

プレスパスは対象外になります。

● 列車ディスカウント

http://www.cosmit.it/en/milano/info/travel_accommodation_5/special_offer_train

イタリア国鉄、トレニタリア

230本の列車にディスカウント適用。入場券を提示してください。

また、スイスローフィエラ駅間でも6本適用。

● **航空券ディスカウント**

出展者、業界関係者とジャーナリストを対象としたディスカウントです。

http://www.cosmit.it/en/milano/info/travel_accommodation_5/special_offer_flights

スカイチーム = 国際線 5-15% オフ (対象期間: 2014 年 4 月 3 日~18 日内搭乗)

アリタリアとディスカウント交渉中。

● **カー 2 Go**

ローフィエラ会場にてカーシェアリングの登録ができます

● **アクセス及び宿泊**に関するお問い合わせはコズミット提携旅行代理店まで:

isalonivisitors@ventanagroup.it

<http://booking.ventanagroup.it/for/ISALONI2013>

● **会場マップ** http://www.cosmit.it/en/milano/info/map_20

● **スマートフォン専用 “Salone del Mobile.Milano 2014” 無料アプリ**

3 月中旬開始予定。

http://www.cosmit.it/en/milano/info/mobile_app

● **2014 年出展社リスト**: www.cosmit.it

各見本市ページより “precatalogue 2014” をご覧ください。

内容は開催直前までアップデートされますのでご了承ください。

● **コズミットオフィシャル日本語サイト**

イタリア語、英語サイトに合わせ、アップデートしています。是非ご利用ください。

www.milanosalone.com

デザイン、ファッション、文化に溢れる町、ミラノ。

2014 年ミラノサローネ国際家具見本市は、世界の舞台となる 2015 年エキスポのドレスリハーサルとして、多数のご来場をお待ちしています。

2014 年 2 月 12 日 ミラノ

コズミットプレス: マルヴァ・グリッフィン